

1. 建物概要				
建物名称	(仮称)ヤマト科学株式会社清水産原工場 新築工事	BEE	1.1	BEEランク B+ ★★

2. 重点項目への取組み度				
重点項目	得点 [※] /満点	取組み度	評価	
“ふじのくに地球温暖化対策実行計画”の推進 (Global Warming)	3.8	/5		ふつう 
“災害に強いしずおか”の形成 (Disaster)	2.8	/5		がんばろう 
“しずおかユニバーサルデザイン”の推進 (Universal Design)	2.8	/5		がんばろう 
“緑化及び自然景観”の保全・回復 (Nature)	2.3	/5		がんばろう 
※対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)		評価 凡例	よい 4 点以上 	ふつう 3 点以上 
				がんばろう 3 点未満 

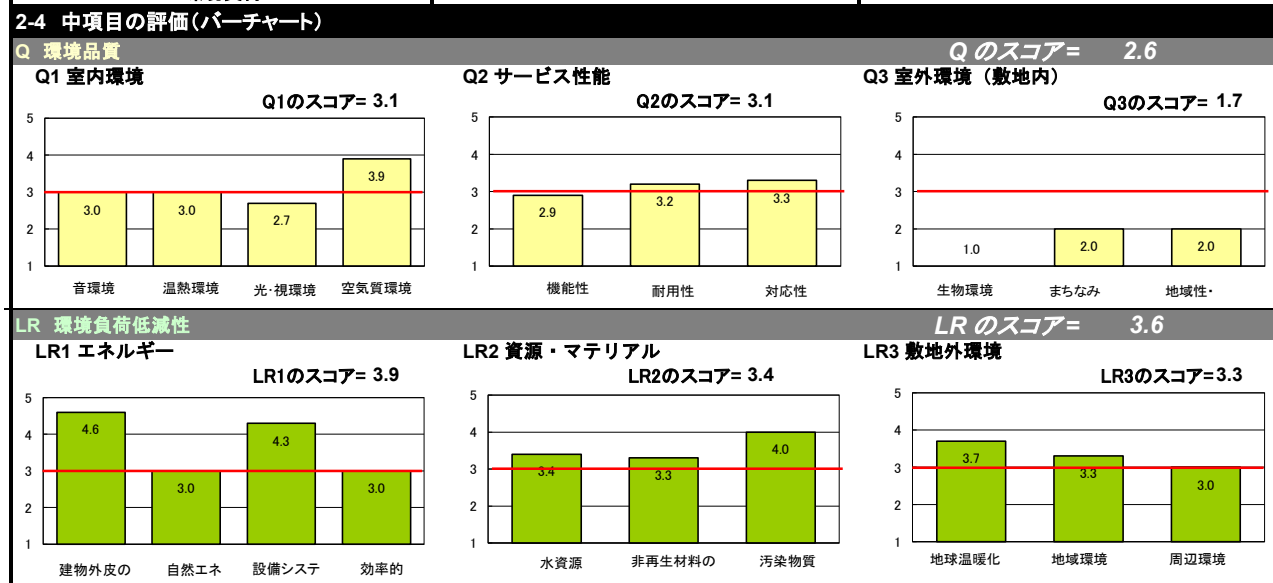
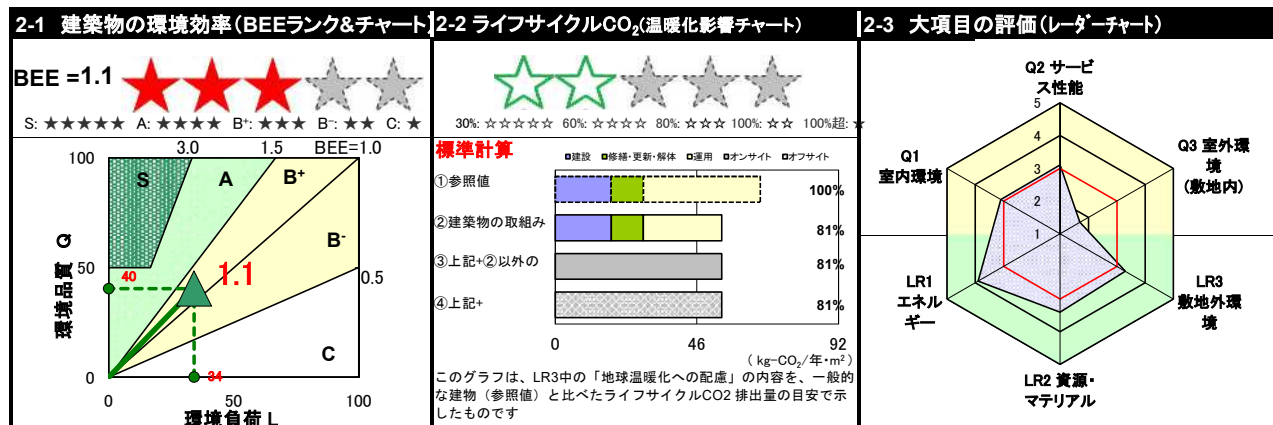
3. 重点項目についての環境配慮概要		内訳対応項目	
各項目について配慮した内容を、該当する番号(①～)を示し記述してください。			
“ふじのくに地球温暖化対策実行計画”の推進(Global Warming)		得点	3.8
 ■室内環境対策 (①室温制御/②昼光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数) ④GL鋼板35年 ④ビニル床シート20年 ④主要な用途上位3種の、2種類以上にB以上を使用し、Eは不使用	■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上)	Q-1 2 2.1 2.1.2 ① Q-1 3 3.1 3.1.3 ② 3.2 3.2.1 ③ Q-2 2 2.2 2.2.1 ④ 2.2.2 ④ 2.2.3 ④ 2.2.4 ④ 2.2.5 ④ 2.2.6 ④	① 外皮性能 ② 昼光利用設備 ③ 昼光制御 ④ 躯体材料の耐用年数 ④ 外壁仕上げ材の補修必要間隔 ④ 主要内装仕上げ材の更新必要間隔 ④ 空調換気ダクトの更新必要間隔 ④ 空調・給排水配管の更新必要間隔 ④ 主要設備機器の更新必要間隔
	■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率的運用) ⑦BPI=0.84 ⑨BEI=0.67	Q-3 1 3 3.2	⑤ 生物環境の保全と創出 ⑥ 敷地内温熱環境の向上
	■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避) ⑪自動水栓に加え、節水型便器を採用 ⑪再利用できるユニット部材を用いている ⑪ケミクリート ⑬発泡剤を用いた断熱材を使用しないVグラスウール	LR-1 1 2 3 4 4.1 4.2	⑦ 建物外皮の熱負荷抑制 ⑧ 自然エネルギー利用 ⑨ 設備システムの高効率化 ⑩ モニタリング ⑩ 運用管理体制
	■敷地外環境対策 (⑭地球温暖化への配慮/⑮温熱環境悪化の改善) ⑭LCCO=81%	LR-2 1 1.1 1.2 1.2.1 1.2.2 2 2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 3 3.1 3.2 3.2.1 3.2.2 3.2.3	⑪ 節水 ⑪ 雨水利用システム導入の有無 ⑪ 雑排水等利用システム導入の有無 ⑪ 材料使用量の削減 ⑪ 既存建築躯体等の継続使用 ⑪ 躯体材料におけるリサイクル材の使用 ⑪ 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 ⑪ 持続可能な森林から産出された木材 ⑪ 部材の再利用可能性向上への取組み ⑪ 有害物質を含まない材料の使用 ⑬ 消火剤 ⑬ 断熱材 ⑬ 冷媒
		LR-3 1 2 2.2	⑭ 地球温暖化への配慮 ⑮ 温熱環境悪化の改善
“災害に強いしずおか”の形成(Disaster)		得点	2.8
 ■サービス性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信頼性)		Q-2 2 2.1 2.1.1 ⑯ 2.1.2 ⑯ 2.4 2.4.1 ⑰ 2.4.2 ⑰ 2.4.3 ⑰ 2.4.4 ⑰ 2.4.5 ⑰	⑯ 耐震性 ⑯ 免震・制振性能 ⑰ 空調・換気設備 ⑰ 給排水・衛生設備 ⑰ 電気設備 ⑰ 機械・配管支持方法 ⑰ 通信・情報設備
“しずおかユニバーサルデザイン”の推進(Universal Design)		得点	2.8
 ■サービス性能対策 (⑱機能性・使いやすさ/⑲心理性・快適性/⑳空間のゆとり) ⑲階高3.7m以上 ⑲壁長さ比0.11 ■室外環境(敷地内)対策 (⑲地域性・アメニティへの配慮)		Q-2 1 1.1 1.1.3 ⑱ 3 3.1 3.1.1 ⑲ 3.1.2 ⑲ Q-3 3 3.1 ⑲	⑱ ユニバーサルデザイン計画 ⑲ 階高のゆとり ⑲ 空間の形状・自由さ ⑲ 地域性への配慮、快適性の向上
“緑化及び自然景観”の保全・回復(Nature)		得点	2.3
 ■室外環境(敷地内)対策 (⑲生物環境の保全と創出/⑳まちなみ・景観への配慮/㉑敷地内温熱環境の向上)		Q-3 1 2 3 3.2	⑲ 生物環境の保全と創出 ⑲ まちなみ・景観への配慮 ㉑ 敷地内温熱環境の向上
■敷地外環境対策 (⑲持続可能な森林から産出された木材/㉑温熱環境悪化の改善)		LR-2 2 2.5 LR-3 2 2.2	⑲ 持続可能な森林から産出された木材 ㉑ 温熱環境悪化の改善

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)ヤマト科学株式会社清水庵原	階数	地上2F
建設地	静岡県静岡市清水区庵原町字大久	構造	S造
用途地域	市街化調整区域	平均居住人員	40 人
地域区分	7地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	事務所,工場,	評価の段階	基本設計段階評価
竣工年	2024年5月 予定	評価の実施日	2023年7月14日
敷地面積	11,997 m ²	作成者	大和ハウス工業株式会社静岡流通一級建築士
建築面積	3,015 m ²	確認日	
延床面積	3,397 m ²	確認者	



3 設計上の配慮事項		
総合 これは、CASBEE静岡(2016年版)による評価結果です。 内装材はほぼ全面的にF☆☆☆☆を使用 外壁材、内装材は耐用年数の長いものを採用		その他 特に無し
Q1 室内環境 内装材はほぼ全面的にF☆☆☆☆を使用	Q2 サービス性能 外壁材、内装材は耐用年数の長いものを採用	Q3 室外環境(敷地内) 特に無し
LR1 エネルギー BPI=0.84 BEI=0.67	LR2 資源・マテリアル 躯体と仕上材が容易に分別可能(LGS+GB-R)	LR3 敷地外環境 LCCO2排出率= 81 %

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される